

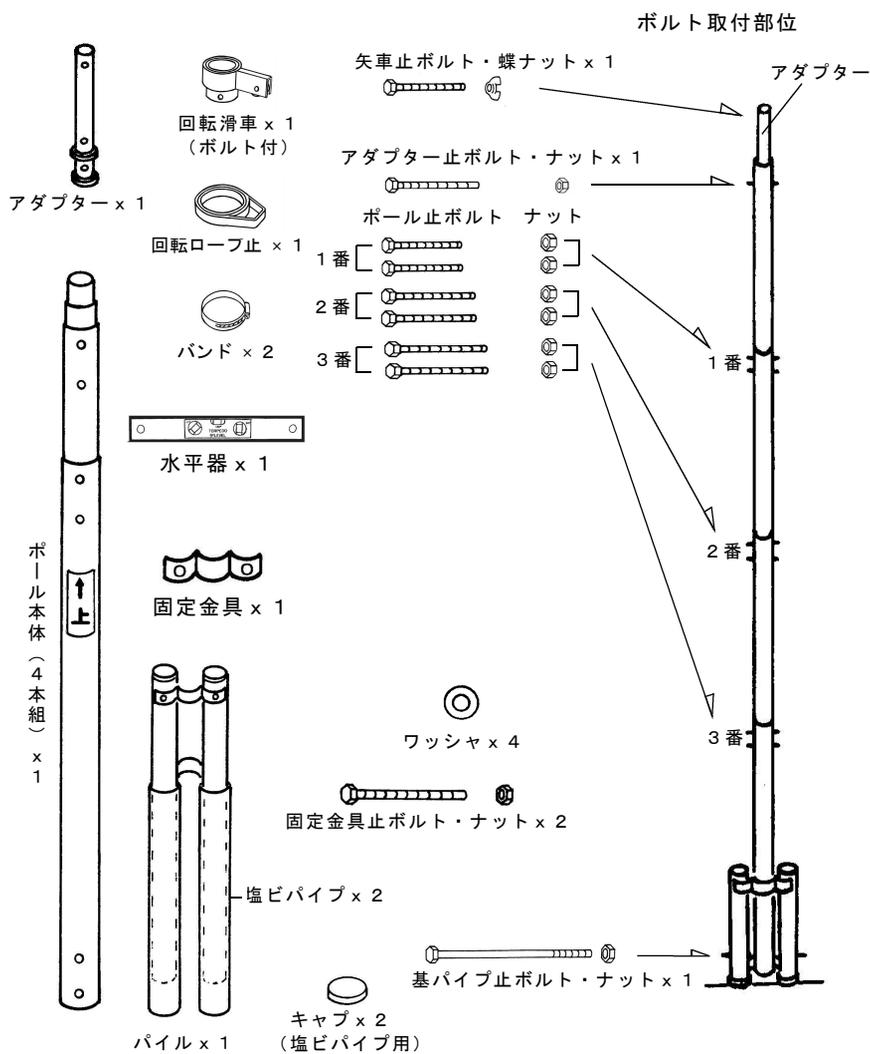
ハイパワーポール 8号 (タイプ5)

【部品図】

(型式 HP-8K-1502)

* ボルト・ナット等 (小部品) は紛失しないよう
空箱等にあけかえて下さい

ハイパワーポール 8号 組立説明書

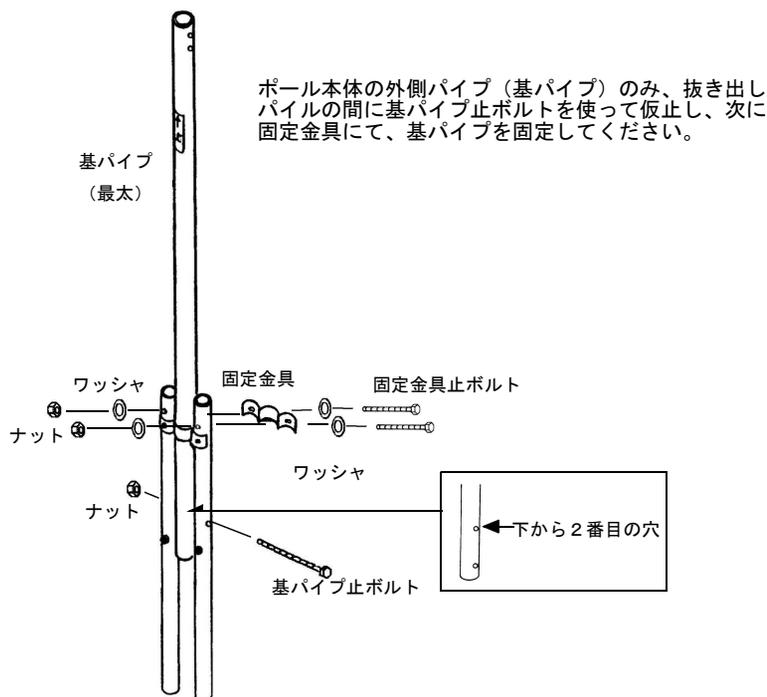


【組立て方】

前準備

- (1) 矢車を組立てておいて下さい。
- (2) スコップ・ツルハシ・砂利 (大・小)・セメント等を準備して下さい。
- (3) ポール組立工具や用具 (スパナ各種・ハンマー・ドライバー・脚立・置台等) を準備して下さい。

1 パイルと基パイプ (最太) の取付け

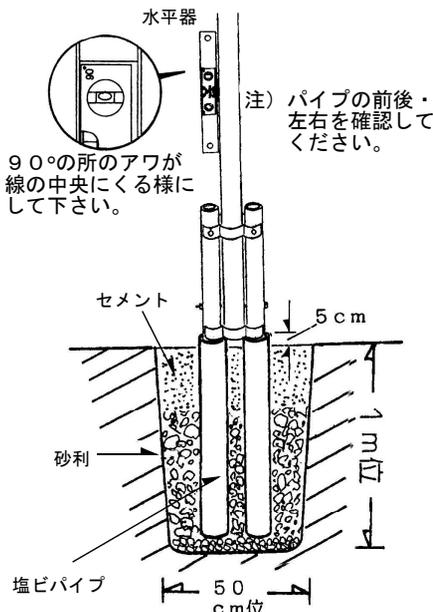


2 パイルの設置

設置場所の決め方

- (1) 地盤のシッカリした土地を選んでください。
- (2) ポールの組み上げや鯉のぼりを泳がせた時を想定し、鯉のぼりやポールが電線や障害物に触れない安全な場所を選んで下さい
- (3) 風向きと鯉のぼりの泳ぐ方向を調べて、ポールを伸ばす方向とパイルの埋設の向きを決めて下さい。

パイルの埋め方

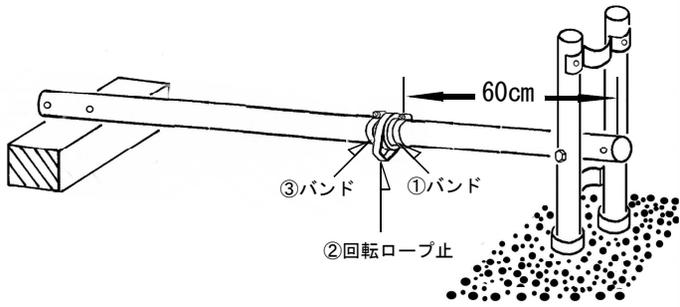


- (1) 穴の掘り方
地面に穴を掘り、穴の下部へ砂利等を敷きつめ、塩ビパイプを付けたままパイルを穴へ入れ、塩ビパイプの先端が5 cm位地面から出る様に、石等で調整してください。
- (2) 穴の埋め方
水平器を使い、パイプとパイルの前後・左右を地面に対して90度 (垂直) に、なるように砂利や土で調整しながらシッカリ固めます。さらに、穴の上部30 cm位をセメントで固めてください。

《ご注意》セメントを施工後何日か必ず乾燥させてから、次の工程へ進んでください

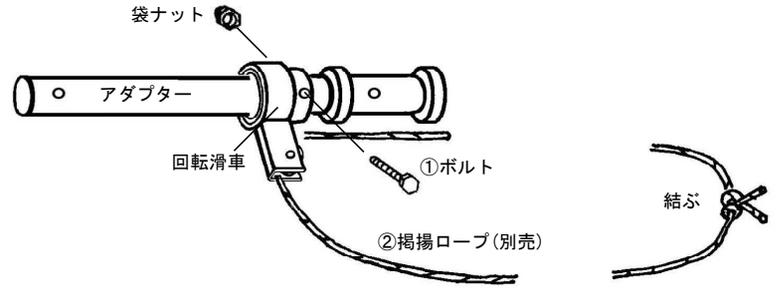
3 回転ロープ止の取付け

- ① 番で組んだ固定金具をはずし、基パイプを横に倒してください。
- ① バンドを1ヶ、基パイプ下側より60cm上へ固定します。
 - ② 回転ロープ止を差し込みます。
 - ③ もう1ヶのバンドにて回転ロープ止を、はさんで固定します。



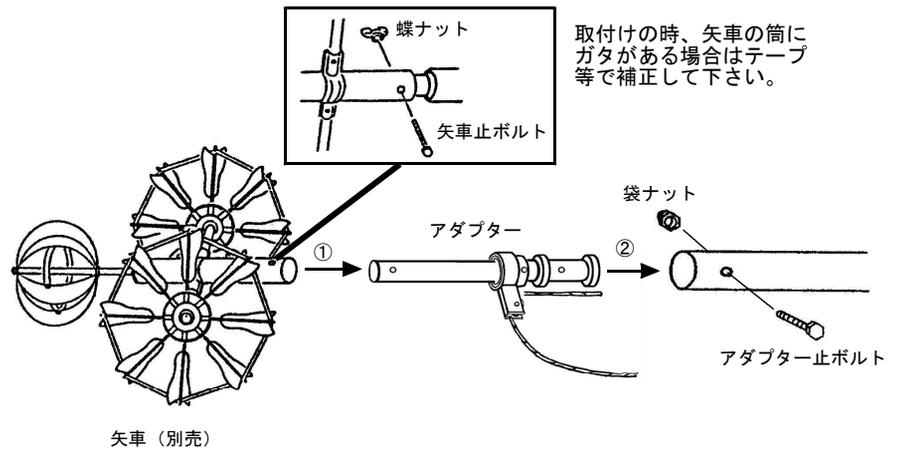
5 掲揚ロープと回転滑車の取付け

- ① 回転滑車をアダプター先端から差し込み止穴にボルトで固定します。(ボルト締めすぎ防止の為、ボルトが少し長くガタがあります)
- ② 掲揚ロープを滑車に通し両端を結んで下さい。



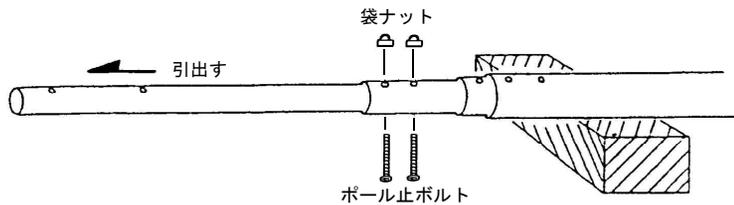
6 矢車の取付け

- ① 矢車の筒下部をアダプターに差し込み、穴を合せ矢車止ボルトと蝶ナットで止めます。
- ② 次に、アダプターを先端パイプの中側に差し込み穴を合せ、アダプター止ボルトと袋ナットで止めて下さい。



4 ポールの引き伸ばし

抜いたパイプを基パイプに差し込んでください。
ポール止ボルトを短い順に並べておき、先端パイプ(最細)から引出し、次のパイプに短いボルトの順に、順次連結して下さい。

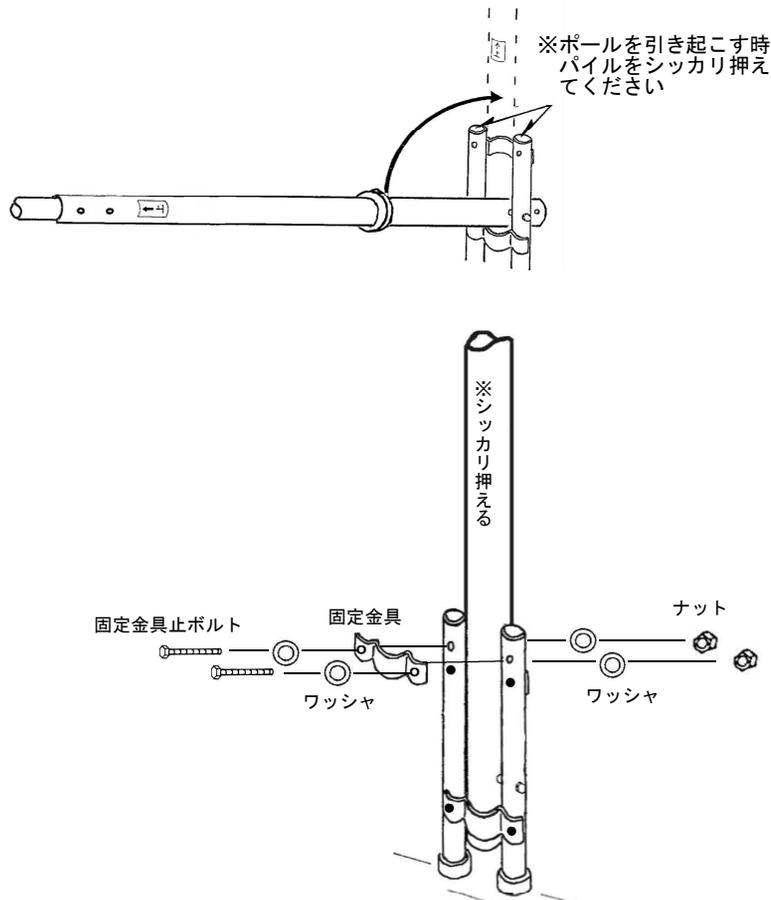


《注意》
ナットの締め付けはユルマナイ程度に締め付けてください
パイプの変形の原因となります

尚、台はポールの伸長にともない移動または台を増設します。

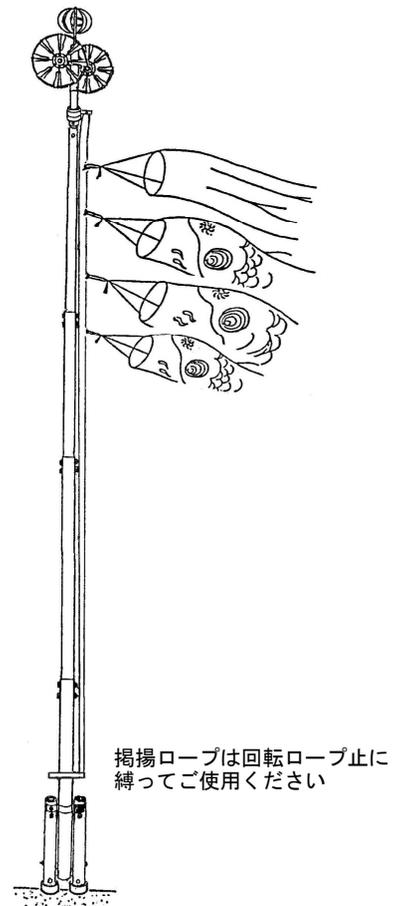
7 ポールの引き起こしと固定

パイプを手でシッカリ押え、ポールの引き起こしを大人2~3人で行ない立ち上げたポールを2人でシッカリ押え、もう1人がポール固定金具をボルトを使って固定してください。



- 周りに障害物がないことを確認してください。
- 弱風でもポールを立てるとパイプが振られますので、必ず2人以上で行って下さい。

完成図



【警告】

万一、鯉のぼり等やポールが電線に触れたり絡んだりした場合には最寄の電力会社へ連絡して下さい。

掲揚ロープは回転ロープ止に縛ってご使用ください

取りはずし方

- (1) 節句が終わりましたら、すみやかに解体を行って下さい。
- (2) 解体は組立の逆順で行って下さい。
- (3) 強風(風速5.5m以上)では、危険なので解体は行なわないで下さい。
- (4) 取りはずし後、ポールや部品等は乾いた布でふき、汚れを落してからビニールや箱に収納し、湿気や潮風の当たらない所へ保管して下さい。
- (5) 解体後、塩ビパイプにキャップをかぶせてください。